

目次

CONTENTS

はじめに	003
------	-----

1. 材料の基準強度特性値の誘導法と評価法

(執筆：飯島泰男)

1.1 設計用基準値の誘導	008
1.1.1 種類	008
1.1.2 基準強度誘導の対象	009
1.1.3 基準強度の考え方	009
1.1.4 強度等級区分方法	011
1.2 強度特性値に影響する因子	013
1.2.1 寸法効果	013
1.2.2 含水率	014

2. 製材

(執筆：2.1 園田里見、2.2～2.5 平松 靖)

2.1 曲げ強度に関するデータ	016
2.1.1 実大曲げ強度試験データの収集状況	016
2.1.2 樹種別の曲げ強度	020
2.1.3 目視等級区分別 曲げ強度データ	033
2.1.4 機械等級区分別 曲げ強度データ	048
2.1.5 原木と材料強度の関係	067
2.1.6 いわゆる「地域性」に関する検討	070
2.2 縦圧縮強さ	080
2.2.1 データ収集状況	080
2.2.2 試験体の寸法	080
2.2.3 試験方法	080
2.2.4 試験データとその調整	081
2.3 縦引張り強さ	090
2.3.1 データ収集状況	090
2.3.2 試験体の寸法	090
2.3.3 試験方法	090
2.3.4 試験データとその調整	090
2.4 めり込み強さ	099
2.4.1 データ収集状況	099

2.4.2 試験体の寸法	100
2.4.3 試験方法	100
2.4.4 試験データとその調整	102
2.5 せん断強さ	107
2.5.1 データ収集状況	107
2.5.2 試験体の寸法	107
2.5.3 試験方法	107
2.5.4 試験データとその調整	108

3. 製材以外の軸材料

(執筆：大橋義徳)

3.1 集成材に関する強度データ	113
3.1.1 データ収集状況	113

4. 密度

(執筆：飯島泰男)

4.1 密度の分布	130
-----------	-----

5. クリープ

(執筆：荒武志朗)

5.1 クリープに関するデータ	133
5.1.1 データの収集状況	133
5.1.2 曲げクリープ	134
5.1.3 めり込みクリープ	140
5.1.4 クリープのまとめ	142

付録. 構造用木材の強度試験法

(執筆：飯島泰男)

A.1 国内における構造用木材強度試験法の現状	145
A.2 試験法の概要	146
A.2.1 サンプルング方法と試験条件	146
A.2.2 引張試験	147
A.2.3 圧縮試験	147
A.2.4 曲げ試験	148
A.2.5 せん断試験	148
A.2.6 クリープ	149
A.2.7 その他の試験法適用の可能性	150